

梅谷七右衛門清政年表

- 1683年 清政生まれる 以下年齢は満年齢
- 1692年 牛を飼い田畑にて働く(9歳)
- 1697年 伯父十郎左衛門より銀300目を借り門先に小見世を出す(14歳)
- 1697年 新井水番役に当たる(14歳)
- 1699年 東本庄村の庄屋になる(16歳)
- 1701年 結婚(18歳)
- 1703年 新田開発を藩に願い出る(20歳)
- 1704年 飢饉のため藩公より銀10貫目を拝借し村中に分配する(21歳)
- 1706年 魚問屋(八幡屋)を始める(23歳)
- 1710年 喜瀬川氾濫する 5年の歳月と延べ3万人の人足を投入し、河川敷をかさ上げして敷地を拡げる工事をする
工事完了後、村内の屋敷を持たない百姓38軒に敷地を与える
- 1712年 三味(埋め墓)を川の東に移し、角之坊(金泉寺)を建て、施餓鬼を始める(29歳)
- 1712年 蓮花寺を再建し、本堂を修復する(29歳)
- 1716年 借銀をすべて返済 新井改修工事着手(33歳)
- 1721年 古宮組大庄屋、今里家の十三郎死去 大庄屋代を命ぜられる(38歳)
- 1728年 大庄屋代を辞し、西本庄村庄屋を兼ねる(45歳)
- 1729年 『愚胸記』の執筆に着手(46歳)
- 1730年 阿閑神社の社殿の修復に尽力し、松の苗木を植え松林を保護する
阿閑神社の新神輿を作り、神事(祭り)を復活させる(47歳)
- 1732年 『愚胸記』の執筆を終える(町指定文化財)(49歳)
- 1742年 妻死去 高禅寺(無量壽院)に三界萬霊地藏尊(町指定文化財)を建立し供養する(59歳)
- 1748年 息子孟政死去
- 1749年 高禅寺に宝篋印塔を建立(66歳)
- 1750年 魚介類供養塔(町指定文化財)を建立
氏宮に灯籠を寄進する(67歳)
- 1755年 角之坊に唐戸を建て半鐘を釣る(72歳)
- 1762年 清政死去(享年80歳)